		<u> </u>	<u> </u>		III TIA					
事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年 9月	10日(月曜日) 15 時 30		工事関係者区分	一次下請			
事故区分	車両·自転車等損傷	性別	_	年齢	_	業種区分	土木			
被災程度	車両の破損			事故レベル	I	休業見込日数	_			
工事概要	中央区地域整例	带部地域整 值	請課							
事故概要	既設構造物を大型ブレーカで取壊しを行った際に,近くを走行していた一般車両にコンクリート片が飛 散し,車体を損傷させたもの。									
事故原因	既設構造物の縁を切るための取り壊し作業を点在して大型ブレーカで施工を行うことから,飛散防止にパネル(コンパネ)を用いていたが,経験から両側1枚のパネルで十分に飛散防止を図ることができると判断して作業を進めたため。									
改善策		取り壊し作業	者にて安全教育に際しては、現り		た飛散防止対策	を講じることを作う	美 従事者			

事故状況図





改善状況図



施工状況再発防止のための安全教育の実施

		<u> </u>	- - 1	<u> </u>	ID TK					
事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年 9月]12日(水曜日	日)11時 00分	工事関係者区分	一次下請			
事故区分	車両·自転車等損傷	性別	_	年齢	_	業種区分	土木			
被災程度	自家用車の損傷	复 勿		事故レベル	I	休業見込日数	0			
工事概要	給水管取替工									
事故概要	舗装復旧作業のために片側通行の規制で工事看板等の各種標識を設置し交通誘導警備員を配置 して作業を行い,反対車線へ工事看板を移動させようとした際に,誤って倒してしまい車庫に止めて あった車を損傷させたもの。									
事故原因	点在する給水管取替箇所の舗装本復旧を、片側通行の規制で工事看板等の標識類を反対車線の 施工をするために移動させようと交通誘導警備員が急いで設置しようとした際に、誤って交通誘導警 備員が工事看板を倒したため。									
改善策	・余裕のある作業・車道を二分割し	工程に見直しての作業の終 しての作業の終 しは、交通の3		, 徹底する。 時解除し, 再度	E. 規制を行うよう! ることで道路使用記	こする。 午可を得ていることを	,作業従			

事故状況図

(事故状況図)

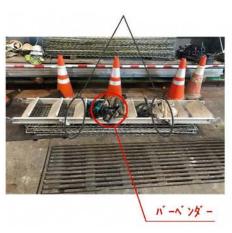






_			_ , , ,			110 100					
	事故分類	労働災害	発生日時	平成 30年 9	月 15日(土曜	星日) 15時30分	工事関係者区分	二次下請			
	事故区分	その他	性別	男性	年齢	46	業種区分	土木			
	被災程度	右肩甲骨骨折, >	右腕神経叢損	傷, 右肩挫創	事故レベル	П	休業見込日数	9日			
	工事概要	地下鉄七隈線發	延伸工事								
	事故概要	深さ24.8mの地下4階から足場材(階段枠等)の荷上げ作業中、吊荷が1段梁に接触し傾いたことで、 足場材の上に置いて一緒に荷上げしていた鉄筋ベンダー機(15kg)が落下、19.8m下の被災者の右肩 に当たり負傷、直ちに救急車で病院へ搬送した。被災者は地下4階で荷上げをする足場材を開口付近 に集積する作業をしていた。									
	事故原因	・資材の荷上げ・玉掛けした状態	・小物を固縛していなかった。・資材の荷上げ作業中に開口直下の立入り禁止区画に立ち入った。・玉掛けした状態を玉掛作業責任者が確認していなかった。・吊荷が切梁に接触しそうになった際に、上部作業指揮者の合図が遅れた。								
	改善策	・ワイヤーで絞りきれない小物は吊袋やワイヤーモッコを利用して揚重する、また は絞りきれている吊荷に確実に固縛する。 ・下の合図者は荷上げ・荷下し開始前に拡声器にて当該ブロック作業者全員に荷上げ・荷下し作業開始を伝える。全員が作業を休止し、開口部を注視したことを確認するまで揚重作業は行わない。揚重作業が完全に終了したことを確認した後、拡声器にて作業開始の合図を送る。 ・玉掛けした状態を玉掛作業責任者が確実に確認した上で揚重作業を実施する。 ・合図者は必ず上下に一人づつ配置し、2人の合図者とクレーンオペレーターは3者無線で確実に連絡を取り合い、合図の不備・連絡不足を排除する。 ・上記改善内容を適宜、継続的に指導、教育する。									

事故状況図





改善状況図

荷上作業状況 (玉掛作業責任者による玉掛状況の確認) 荷上作業状況 (拡声器による注意喚起後の荷上)

安全教育状況







		<u> </u>		<u> </u>	ID TK				
事故分類	労働災害	発生日時	平成30年9月	平成30年9月17日(月曜日) 15時00分			元請け		
事故区分	墜落·転落	性別	男性	年齢	19	業種区分	設備		
被災程度	左耳後部挫創			事故レベル	I	休業見込日数	3		
工事概要	車両清掃業務	委託							
事故概要	車両の清掃を作業通路から清掃用ポールを使用して、先頭車両の前面ガラスの清掃作業を行った際に、バランスを崩し作業通路からレール上に転落し、左耳を受傷したもの。								
事故原因	通路から軌道内	先頭車両の清掃作業を作業通路を利用して行っていたが、作業通路と車両の先頭付近には、作業 通路から軌道内に転落する恐れがあるため、作業場所を移動する手順となっていたにも関わらず、こ の手順を怠り作業通路から無理な体勢で窓を清掃したたため。							
改善策	施する。 ・毎日実施する 手順及び安全I	KY活動時に こ関する指導	おいて, 安全に関 を行うよう改善し	関する項目を た。		安全に関する指導 クシートを用いなか Fを実施した。			

事故状況図



無理な姿勢での 清掃作業





事故発生時



毎朝のKYミーテッィング

事業所名					会社名	無數日	ピルメンラ	ナンス
	q	Я	8 10		作業責任者			
作業日時	39	9 ~	89	n	作業人員	8		6
作集内容			作業箇所			天保		
1. 作業前点被	に関する事	項					責任者	チェック
(1)作業員の体制	異は良いか						я	青
(2)装着する保証	異は万全か	6					A	香
(3)作業者の作品	配置は的	変か					9.	-
2. 作業時に於け	る連中及び	神話事事	(作業員全	員に開知	敬意させる事項)			_
(1)保護具を正し	く使用する!	保護権	保護帽アゴ	種)・3.71金	袋(穴あきが無い	こと)等	я	*
(2)作業範囲外の	の立入禁止の	り銀守					良	青
(3)上部高圧線(こ近づかない	(作業道	異も近づけな	(L)			鱼	- 16
(4)溝(ピット)部分	は転落恐れ	あるので	前進で降りる	,足元雜	証等は指兼呼称	を行う	A	青
(5)電化品のON	OFF#O	ウ集役誌・	指示は明確	に行う			A	被
(6)通路(グレーチ)	か)と電車の	関に足を	踏み外さない	はうにほ	意する		鱼	青
(7)モップ試きは	後退作業で	fi∋ατ.	ハケッ等を足	で引っ張	らないよう注意す	ō	9.	-
(8)車両先頭の清掃作業時には、軌道内に移動する								香
88:								

3. 選票	の管理にあ	数する事項	1							
編成	清陽内部	道具	1	2	- 3	4	- 5	- 6	確認者	確認的
		パケツ								
		モッブ								
編成	漢語内部	遊展	- 1	2	3	4	5	- 6	一種提布	確認的
		パケツ								
		モッブ								
編成	漢稱內部	遊典	- 1	2	3	4	4 5 6 確認者	一種提者	確認印	
		パケツ								
_	_	モッフ	_			_			-	_
模式	清極内部	道具	1	2	3	4	5	- 6	確認者	確認印
		パケツ							_	
	_	モッブ			_			_	_	_
模点	清损内部	道具	1	2	3	4	5	6	確認者	種類的
		パケツ							-	
	_	モッフ						_	_	_
編成	清掃内容	道具	.1	2	3	4	5	6	確認者	種語印
		1877								
		ボーノブ								

安全に関するチェックシート(赤枠追加)





事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年 9月	月19日(水曜)	日) 12時25分	工事関係者区分	一次下請				
事故区分	埋設物等損傷	性別	ı	年齢	ı	業種区分	土木				
被災程度	国交省所有さや智	管及び九電配電	電管の被覆部損傷	事故レベル	П	休業見込日数	_				
工事概要	道路工事に伴う	i水道仕切弁	鉄蓋高さ調整工	事							
事故概要		水道仕切弁鉄蓋高さ調整のため,機械掘削を行っていた際,電線共同溝さや管及び配電管の被覆部 を損傷させたもの。									
事故原因					無・埋設状況の確 はないと判断した	電認を怠った。 幾械掘削を行った。					
改善策			棟講習会に参加 単設情報を確実に			指さし確認を行うよ	う改善し				

事故状況図



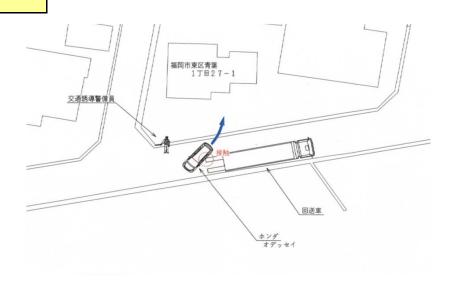




安全訓練講習会の実施

			<u> </u>		113 110				
事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年9月	19日(月曜	工事関係者区分	二次下請			
事故区分	車両·自転車等損傷	性別	男性	年齢	47	業種区分	土木		
被災程度	車両のサイドス	テップ下部に	-傷	事故レベル	I	休業見込日数	-		
工事概要	配水管布設工	事							
事故概要	重機を運搬する回送車に重機を積み込もうとしたところに、自家用車で帰宅され駐車場に交通誘導整備員の誘導で後進した際に、回送車用のブリッジと接触し、被災者の車両を損傷させたもの。								
事故原因	帰宅車両を後進で駐車場に進入させる際に、通過車両を誘導するために配置した交通誘導整備員が 積み込み用のブリッジの確認が不十分な位置で誘導したことと、安全な走行を確保するためにブリッジ を収納する等の措置が疎かであったため。								
改善策	全を確認できる	専任の誘導		ビ,運転者の		導警備員とは別に 保するように努めて			

事故状況図





再発防止に向けた安全訓練を実施